

行政



市長の補助機関として副市長、部長などの職員を配置し、9部を設置しています。他の執行機関は、消防局、公営企業局、教育委員会、選挙管理委員会、公平委員会、監査委員、農業委員会および固定資産評価審査委員会があります。



市長 野志 克仁
Katsuhito Noshi



副市長 梅岡 伸一郎
Shinichiro Umeoka



副市長 西泉 彰雄
Akio Nishiizumi

議会



市議会の議員定数は43人、任期は4年です。議会の本会議は年4回の定例会と必要に応じて招集される臨時会があります。委員会は総務理財など6つの常任委員会が設置され、議案などの審査や調査を行っています。



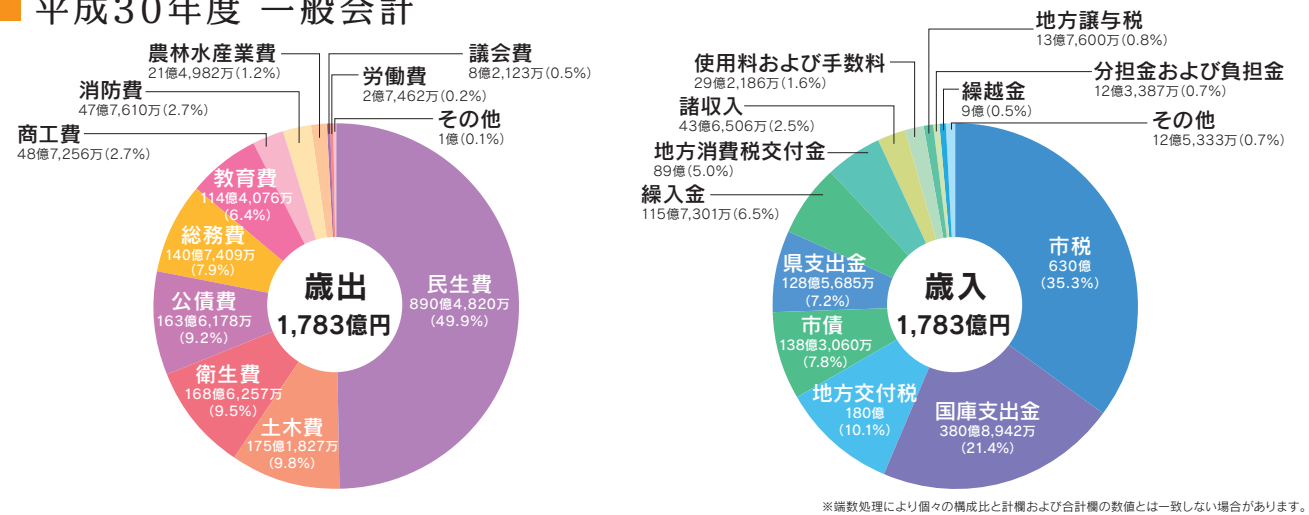
議長 栗原 久子
Hisako Kurihara



副議長 原 俊司
Syunji Hara

松山市プロフィール Matsuyama City Profile

平成30年度 一般会計



市勢



面積と推計人口

面積	429.40km ²
総人口	512,479人
人口密度	1,193人
世帯数	233,649世帯

自然動態

出生	2,106人	2,004人
死亡	2,707人	2,603人

自然増加 -1,200人

社会動態

転入等	8,452人	7,482人
転出等	8,435人	7,304人

社会増加 195人

人口増加 -1,005人

教育・産業経済・施設設備



学校施設

幼稚園	43園
小学校	60校
中学校	32校
高等学校	16校
大学・短大	7校

(平成29年5月)



公園

総数	334
面積	389.07ha
・街区公園	207
・近隣公園	16
・地区公園	1
・総合公園	4
・その他	103

(平成29年4月1日)



医療施設

総数	792
・病院	43
・診療所	490
・歯科診療所	259

(平成28年末)



就学人口

幼稚園	6,650人
小学校	27,199人
中学校	13,403人
高等学校	14,577人
大学・短大	17,392人

(平成29年5月)



産業別就業者数

総数	234,503人
・第一次産業	6,957人
・第二次産業	40,668人
・第三次産業	169,242人
・分類不能	17,636人

(平成27年)



上水道

給水普及率	96.9%
年間総給水量	50,010,090m ³
1日平均給水量	137,014m ³
1人1日平均給水量	284ℓ

(平成28年度)



救急車出動件数

総数	25,098件
・交通事故	2,806件
・一般負傷	3,275件
・急病	15,615件
・その他	3,402件

(平成28年)



道路事情

総数	2,165,695m
・国道延長	94,659m
・県道延長	292,677m
・市道延長	1,778,359m
市道舗装率	95.2%

(平成28年4月1日)

名誉市民

社会文化、産業の進展に貢献し、その功績のあった方に対して「松山市名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。〈松山市名誉市民条例〉



柳原 極堂 氏 (本名 正之)
Kyokudo Yanagihara
慶応3年2月11日～昭和32年10月7日



景浦 稚桃 氏 (本名 直孝)
Chito Kageura
明治8年7月12日～昭和37年8月19日



西村 清雄 氏
Sugao Nishimura
明治4年2月13日～昭和39年12月25日



黒田 政一 氏
Masaichi Kuroda
明治18年9月13日～昭和50年8月4日



久松 定武 氏
Sadatake Hisamatsu
明治32年4月29日～平成7年6月7日



宇都宮 孝平 氏
Kohiei Utsunomiya
明治30年5月6日～昭和63年5月18日

名誉市民

Honorary Citizens

60有余年の長きにわたり教育界にあって私学の振興に努め、社会教育・青少年教育に献身。地域社会の進展に著しく貢献された。(昭和37年3月26日授与)

松山市長として3期(12年)にわたり、石手川ダムや市民会館の建設をはじめ、生活環境、教育、福祉施設の整備に尽力。市政の進展と市民福祉の増進に努められ、多大な功績を残された。(昭和52年10月3日授与)

特別名誉市民

親善そのほかの目的で市の賓客として来訪した外国の方、または松山市に移住していた外国の方で、市の産業の振興や社会福祉の増進、学術や芸能など文化の進展に功績のあった方に対して「特別名誉市民」の称号を贈り、これを顕彰します。〈松山市名誉市民条例〉

エドウィーン・O・ライシャワー

Edwin O. Reischauer 昭和38年3月14日授与
駐日アメリカ大使 (U.S.A)

ルーシー・メープル・フランシス

R. Mabel Francis 昭和40年6月28日授与
(U.S.A)

オイゲン・カイテル

Dr. Jur Eugen Keidel 昭和52年10月19日授与
西ドイツ・フライブルク市長 (W. GERMANY)

マイケル・ウィルフォード

Sir Michael Wilford 昭和53年4月25日授与
駐日イギリス大使 (ENGLAND)

ハビエル・イグナシオ・オレア・ムニョス

Xavier Olea 昭和54年9月13日授与
駐日メキシコ大使 (MEXICO)

ヴァージニア・ミュラー

Virginia S. Mueller 昭和56年4月2日授与
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

ジャクソン・ファウストマン

Dr. Jackson Faustman 昭和56年4月2日授与
サクラメント親善使節団団長 (U.S.A)

ヒュー・コータッチ

Sir Hugh Cortazzi 昭和56年12月7日授与
駐日イギリス大使 (ENGLAND)

ジェームス・プリムソル

Sir James Plimsoll 昭和56年12月22日授与
駐日オーストラリア大使 (AUSTRALIA)

カズオ・Z・ニノミヤ

Kazuo Z. Ninomiya 昭和57年1月4日授与
カリフォルニア州立大学サクラメント校教授 松山サクラメント姉妹都市協会副会長(U.S.A)

アン・N・ルーティン

Anne N. Rudin 昭和59年4月2日授与
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)

セルジオ・ゴンザレス・ガルベス

Sergio Gonzalez Galbez 昭和59年12月20日授与
駐日メキシコ大使 (MEXICO)

Dr. ユーリス・ロルフ・ベーム

Dr. Jur Rolf Bohme 昭和60年4月17日授与
ドイツ・フライブルク市長 (GERMANY)

グスタフ・シュミート

Gustav Smud 昭和60年7月4日授与
駐日チェコスロバキア大使 (CZECHO-SLOVAKIA)

レイモンド・エンドレス

Dr. Raymond J. Endres 昭和62年4月1日授与
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

フランク・ジョン・コーティ

Frank John Corti 平成元年4月5日授与
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

ジョージ・S・オキ

George S. Oki 平成元年4月5日授与
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

ジョー・サーナー・Jr

Joe Serna, Jr 平成7年11月17日授与
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)

ラルフ・T・スギモト・Jr

Ralph T. Sugimoto, Jr 平成8年5月22日授与
松山サクラメント姉妹都市協会会長 (U.S.A)

Dr. ディーター・サロモン

Dr. Dieter Salomon 平成15年10月27日授与
ドイツ・フライブルク市長 (GERMANY)

ヘザー・ファーゴ

Heather Fargo 平成16年11月20日授与
アメリカ・サクラメント市長 (U.S.A)

ヘルマン・ファン・ロンパイ

Herman Van Rompuuy 平成25年11月18日授与
欧州理事会議長 (EU)

郝 龍斌

Dr. Hsu Lung-pin 平成26年10月13日授与
台湾・台北市長 (Taiwan)

孔 在光

Kong, Jae-kwang 平成28年8月12日授与
韓国・平澤市長 (KOREA)

市栄誉賞

松山市のイメージアップや公益に多大なご尽力をいただいた方に対して「市栄誉賞」の称号を贈り、これを顕彰します。



和田 茂樹 氏
Shigeki Wada 明治44年4月12日～平成20年4月29日
子規記念博物館初代館長。愛媛大学名誉教授。教育者・研究者として郷土の文化振興に寄与。正岡子規の研究を通じて、短詩型文学の発展に努めた。子規の野球殿堂入りにも尽力された。(平成14年7月12日授与)



天野 祐吉 氏
Yukichi Amano 昭和8年4月27日～平成25年10月20日
コラムニスト。平成14年11月子規記念博物館館長に就任、「道後寄席」の実施など親しみやすい博物館づくりに尽力。また「ことばのちから事業」など本市の魅力向上事業に多大な貢献をされた。(平成26年4月21日授与)



千葉 茂氏
Shigeru Chiba 大正8年5月10日～平成14年12月9日
元プロ野球選手・野球評論家。名二塁手として巨人軍の第1・第2黄金期を築いた。近鉄監督も務め、昭和55年に野球殿堂入り。オールスターゲームの松山誘致に尽力された。(平成14年7月12日授与)



早坂 暁 氏 (本名 富田 祥資)
Akira Hayasaka 昭和4年8月11日～平成29年12月16日
作家・脚本家。代表作「花へんろ」をはじめ、生まれ育った北条地区をたびたび作品に取り上げ、本市の全国的な周知に尽力。また市制100周年を記念して創設した「坊っちゃん文学賞」では、創設から30年にわたり審査員を務め、「ことばと文学のまち松山」の発展に貢献された。(平成30年2月16日授与)